



地域安全対策ニュース

愛知県警察本部
生活安全総務課

車両を出入口に衝突させ破壊・侵入する手口が多発

本年に入り、名古屋市部、尾張部において、深夜、無人の店舗（ドラッグストア、質屋、カードショップ等）から商品が盗み出される出店荒し被害が連続発生しています。

犯人は、車両使用で複数人と見られ、正面出入口に車両を衝突させ破壊し、店舗内に侵入の上、店舗内に陳列された商品（女性用化粧品、トレーディングカード、高級時計等）を短時間で盗み出しています（店舗出入口まで犯行車両が直付けできる店舗が狙われています。）

以下のとおり、防犯4原則（時間・光・音・目）に配慮した対策により、被害を未然に防止するとともに、万が一の際も被害を最小限に食い止めましょう。

防犯対策の推進事項（時間・音・光・目に配慮しましょう）



店舗出入口、窓等の対策

- 店舗出入口付近に車を直付けするなどして、バリケードを設置する。
- 窓ガラスには、防犯ガラスや防犯フィルムを使用し、強化を図る。
- 窓や扉が開放されると吹鳴する警報機を設置し、侵入者を撃退する。
- 夜間の無人の店舗駐車場に、車両が容易に侵入できないよう出入口をチェーン等で封鎖する。



機械警備の導入と防犯カメラの設置及び表示

- 警備会社に機械警備業務の委託をするとともに、早期通報、警報音等により犯人を撃退する。
- 駐車場、店舗出入口、店舗内等広範囲に、夜間でも撮影可能な防犯カメラを設置し、撮影していることを明示して目立つ防犯プレートを設置する。



在庫管理の徹底

- 店舗には、大量の在庫を保管しない。
- 商品棚に至る通路等に、身近なものでバリケードを設置する（閉店時間帯に限る）。
- 化粧品の陳列棚に網ネットを被せるなど、短時間での犯行を困難にする対策をする。
- 特に高価な商品は防盜性の高い金庫で保管し、金庫を床に固定する。



現金管理の徹底

- 閉店後の店舗内に現金を保管しない。
- やむを得ずに店舗内で現金を保管する場合は、防盜性の高い金庫で保管し、金庫を床に固定する。